

米国環境保護庁  
ワシントン D.C. 20460

大気放射局

2007年11月8日

ENERGY STAR®コンピュータ関係者各位

本書の目的は、ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 4.0 に提示されている第 2 段階基準発効日に関する、重要な修正を関係者に通知することである。

## **第 2 段階基準発効日**

バージョン 4.0 基準に記載されているように、EPA は、「エネルギー消費効率性能評価 (Energy Efficiency Performance Assessment) による第 2 段階基準」を推進する意向であり、これにより、すべての動作モードにおける、コンピュータの効率評価が可能となる。EPA は、第 2 段階基準に向けた目標に関する取組んでいる 2 団体の活動を注視している。

- *Ecma International*: デスクトップおよびノートブックコンピュータのエネルギー消費効率性能の測定方法および規定形式による結果の報告方法を説明する規格を策定している。
- *BAPCo*: Ecma による規格に準拠する評価スキームを実施するソフトウェアシステムを制作するために、Ecma と協力しており、このソフトウェアは、第 2 段階基準のエネルギーに関する部分の根拠に用いられる可能性がある。

これら 2 団体の策定を担当する作業部会は、過去 1 年にわたり大きな成果をあげてきたが、作業を完了させるには追加期間を必要としている。継続的な作業の進展を支援し、これらの取組みが第 2 段階の目標を確実に達成するように、EPA は、第 2 段階基準の発効日を修正する。**第 2 段階基準の新たな発効日は、2009 年 7 月 1 日を予定している。**

この追加期間は、有意義なエネルギー消費効率性能評価が完成し、その後この評価方法に基づく EPA のデータ集積が確実に実施されるために用いられる。暫定的な第 2 段階のアイドル要件に関する文言は、新スケジュールのもと、基準書にそのまま残る予定である。

## **基準書に記載されている第 2 段階基準発効日**

関係者に対する参考として、次ページには、ENERGY STAR コンピュータ基準バージョン 4.0 における第 2 段階基準発効日の記載に関する修正一覧が示されている。バージョン 4.0 基準のその他部分のすべてについて変更はない。

- ページ 11~12 第 3 章 エネルギー効率および電力管理基準

**B) 第 2 段階基準要件—2009 年 7 月 1 日発効**

**(1a) 第 2 段階基準のエネルギー消費効率性能測定基準**：すべてのコンピュータは、機器の消費電力量の測定基準にしたがって、以下の最低性能を満たすことを義務付けられる。

エネルギー消費効率性能ソフトウェアおよび関係基準値：**未定**

または、

**(1b) 暫定的な第 2 段階アイドル要件**：エネルギー消費効率性能の測定基準および関係する性能基準値の発効準備が、**2009 年 7 月 1 日**までに完了していない場合、暫定的第 2 段階基準は自動的に発効して、このようなベンチマークが確立するまで有効となる。この暫定的第 2 段階基準は、すべてのコンピュータ機種（第 1 段階の対象となるもの、および適切と思われるもの（例：シンククライアント））に対して、エネルギー消費効率における性能の上位 **25%**を示すように修正されたアイドル時の基準値を含む。

- 
- ページ 14 第 5 章 発効日

2. **基準バージョン 4.0 の第 2 段階における適合製品**：本基準の第 2 段階については、**2009 年 7 月 1 日**に発効する。**製造日**が **2009 年 7 月 1 日**以降であるすべての製品（第 1 段階適合モデルを含む）は、エネルギースター適合になるために、第 2 段階要件を満たさなければならない。

---

平素より ENERGY STAR へ継続的な参加に感謝する。本件に関して質問または懸念がある場合は、EPA の Katharine Kaplan ([kaplan.katharine@epa.gov](mailto:kaplan.katharine@epa.gov), (202)-343-9120) に連絡をすること。

Best regards,

Katharine Kaplan, EPA Product Manager  
ENERGY STAR for Office Equipment